



2025年度 国際知的財産保護フォーラム IIPPF活動報告

2026/02/17

IIPPFとは

国際知的財産保護フォーラムは、2002年4月に設立された、模倣品・海賊版などの海外における知的財産権侵害問題の解決をめざす企業・団体の集まりです。

5つのプロジェクトチームによるテーマ別の活動

（外部交流、勉強会、情報交換、調査事業、ミッション派遣など）を行っており、内外の関係機関と連携した取組みを展開しています。

2006年度よりジェトロが事務局機能を担い、特許庁がその活動を支援しています。

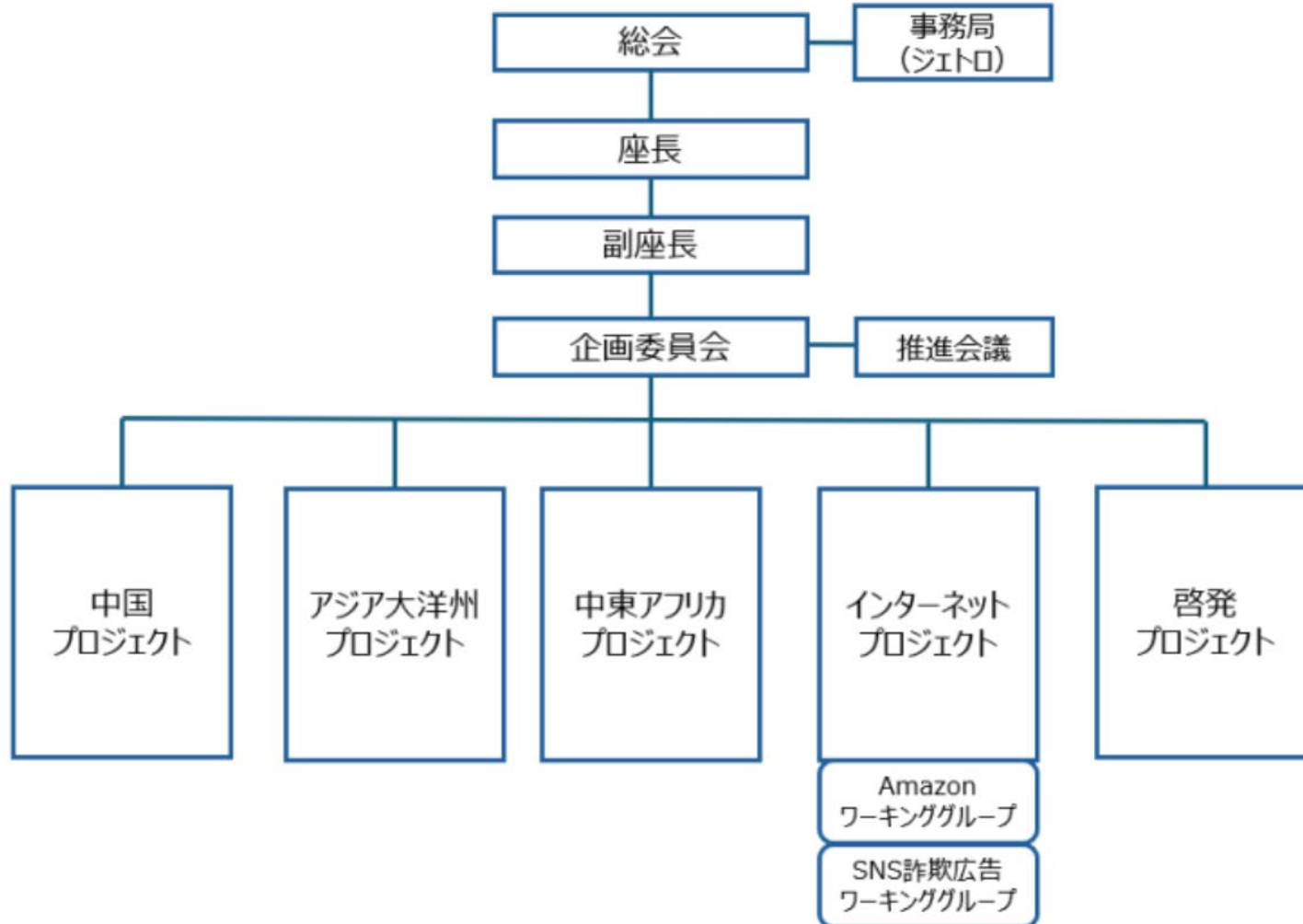
総メンバー数 284（72団体・212企業）（2025年7月現在）



IIPPFの組織概要

企画委員会 + 5つのプロジェクト + 2つのワーキンググループで構成。

C2-1



1. 中国プロジェクト

中国における模倣品対策の実務等に関して、メンバー間で事例紹介やグループディスカッションを行うほか、必要に応じて国内外の専門家（弁護士・弁理士など）を招きセミナーや意見交換等を実施します。
テーマごとのグループ（分科会）に分かれ、定例会合にてメンバー間で各社の事例紹介やグループディスカッションを行い課題解決を目指しています。

今期活動例：ECPF削除申請フロー調査および調査報告セミナー

背景・概要

- 中国系主要ECPF、7つにおける模倣品削除申立の具体的な手順を日本語で紹介するマニュアルを作成中
- このマニュアルに関するオンラインセミナーを実施



日程：2/5(木)15:00-16:50 @オンライン

参加者：IIPPFメンバー、IPGメンバー、特許庁、ジェトロ

講演者：IP FORWARD上海 周弁護士（削除申立マニュアル作成の委託先）

参加人数：185名

2. アジア太平洋プロジェクト

主にASEAN、インドの知的財産保護の問題点の分析及びメンバーニーズを踏まえ、関係国への改善要請等を行います。

- ・ ASEAN・インド政府機関に対する協力支援プログラムの実施
- ・ 政府関係者、有識者等による情報提供セミナー・意見交換会

今期活動例：インド・インドネシア・ベトナム現地訪問事業



インド税関向け真贋判定セミナーの様子



インドネシア知財関連機関との意見交換の様子



ベトナム真贋判定セミナー
IIPPF座長挨拶

3. 中東アフリカプロジェクト

中東・アフリカ、主に中東の知的財産保護の問題点の分析及びメンバーニーズを踏まえ、関係国への改善要請等を行います。

- ・中東の政府機関に対する協力支援プログラムの実施
- ・政府関係者、有識者等による情報提供セミナー・意見交換会

今期活動例：真贋判定セミナー（ヨルダン、サウジアラビア、エジプト）
UAE・トルコ訪問事業、アフリカにおける水際取締制度の調査



サウジアラビア真贋判定セミナー

・UAE訪問事業



4. インターネットプロジェクト

インターネット上の知的財産権侵害に関して、調査・研究等を行います。国内外のインターネット・サービス・プロバイダー（ISP）等との間で、双方向な意見交換や情報交換を通じ、連携強化に努めています。実態把握のため、世界各国・地域のインターネット上での知的財産権侵害対策等を調査します。メンバーニーズを踏まえ、関連セミナーを開催します。
（Amazonはメンバーニーズが多く、PJ内でWG化）

今期活動例：海外EC事業者・国際機関との意見交換、 日・米・EU・中のEC関連法制度 最新動向調査

7/14(月) TikTokShopとの意見交換

参加者：インターネットPJ、アジア大洋州PJ、特許庁、
ジェトロ 計41名

概要：知財保護に関するMOUを締結し、知財保護制度に関するセミナーを開催。今後も協力関係を構築していく。



10/22(月) eBay本社との意見交換

参加者：IIPPFインターネットPJメンバー、特許庁、
ジェトロ 計37名

概要：本社と初めての交流に成功し、オンライン会合を開催。eBayの知財保護に関する制度と体制を紹介。様々な質問をテーマごとに整理して意見交換を実施。



4-2. Amazon ワーキンググループ

【開催日】 2026年4月15日

【目的】 世界最大手ECPFであるAmazonによる講演および意見交換会を通じ、Amazonと権利者の協力関係を構築し、権利者の課題・要望をインプットすることで、Amazon上の模倣品の減少・撲滅を目指す。

【概要】 ※2部構成

- ◆ 第1部： オープンウェビナー(IIPPF会員以外も聴講可。ただし会場参加はIIPPF会員限定)
 - ✓ 2024年度Amazonブランドプロテクションレポートについて
 - ✓ Amazon Brand Registry上の役割および販売特典へのアクセス方法
- ◆ 第2部： 意見交換会(IIPPF会員のうちNDA締結企業限定)
 - ✓ 自動保護機能について
 - ✓ CCUについて
 - ✓ AmazonへのQ&Aタイム(Amazonへの質問・要望を事前送付)

【備考】

- ◆ Amazon側は全世界のブランド保護担当窓口からなるCTXR (Customer Trust & External Relations)チームが参加。
- ◆ 意見交換会参加に必要なNDAが、今回よりAmazonWG会合のみに対象を絞った「限定NDA」の締結が可能となり(従来は全社をカバーする「包括NDA」)、参加企業が増加。



5. 啓発プロジェクト

模倣品等の被害を防ぐことを目的に、一般消費者に向けた啓発に関する活動を行います。

消費者に対する啓発手法の研究・情報交換、ノウハウの共有を通じて、参加メンバーの啓発に関するスキルの向上を目指します。

参加企業が共同で啓発活動を実施し、消費者啓発の力を活用することを通じて、模倣品被害を防ぎます。

今期活動例：企業共同 学生向け模倣品対策 出張啓発セミナー（山口大学）
SNS詐欺広告「啓発動画制作コンペ」（国際ファッション専門職大学）

・ セミナーメディア取材：テレビ山口



<応募された学生制作動画>



←優秀賞

←最優秀賞

佳作→



今期まとめ

- IIPPFには約300の企業・団体が加盟しており、それぞれの関心にあわせてプロジェクトに加盟し、模倣品対策についての情報交換や、団体交流、調査事業を実施している。加盟社が幅広く、特定の業界に拠らないところがIIPPF最大の特徴であり、プロジェクト毎のアンケートによりメンバーのニーズを汲みながら活動を決定している。
- 海賊版対策については、グッズなどの「著作権侵害品対策」の文脈でAmazonをはじめとする各国ECサイトに対策の強化を要望している。Amazonからは、自社システム（Amazon Brand Registry）で著作権侵害の申請対応が可能なことや、申立に問題があれば個社対応することが示された。
- IIPPFは「海外における知的財産権侵害問題の解決をめざす」ことが目的であり、模倣品・海賊版のターゲットを区別しているものではないので、引き続きメンバーのニーズを吸い上げ、実効的な侵害対策の情報提供や、海外関係機関・事業者との交流の機会を作っていきたい。